

(第1-2号様式)

特別管理産業廃棄物処理計画書

R5年 6月 24日

奈良県知事 殿

提出者住所 奈良県吉野郡下市町阿知賀621-1

氏名 医療法人南風会 理事長 南 尚希

電話番号 0744-26-2884

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項（奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5）の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	医療法人南風会 万葉クリニック・介護老人保健施設万葉テラス
事業場の所在地	奈良県橿原市五井町247
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月1日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	医療・福祉
② 事業の規模	病院 病床数：240床 介護老人保健施設 ベッド数：100
③ 従業員数	330人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性廃棄物→中間処理業者に委託し、焼却埋立処分。

(日本産業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

病院長 (特別管理産業廃棄物管理責任者)



委員 (病院看護部長、介護老人保健施設看護・介護主任、事務部次長、事務員)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (4 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	60.654 t	t
	(これまでに実施した取組) ガーゼ使用量の適正化		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	20 t	t
	(今後実施する予定の取組) 新型コロナウイルスの五類化に伴い、例年の廃棄量に近づけるため物品の使用量適正化を図る。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物はほかの廃棄物と区別して保管。 鋭利物・非鋭利物はそれぞれ異なる容器に分別し保管。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	60.654 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	60.654 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	
	全処理委託量	20 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	20 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		t
	(今後実施する予定の取組等)		
※事務処理欄			